

【徳川家康物見塚】

・徳川家康の物見塚は、東郷中学の東に位置します。此处は弾正山の設楽原に張り出した小高い丘の南端にあり、最前線の【**戦闘指揮所**】に最も相応しい場所だと云われている。・本陣は八剣神社に置きました。目前には連吾川が流れ、武田軍の左翼、山縣昌景隊が陣を張りました。・設楽原の決戦の中でも、最大の激戦地と云われる【**竹広前激戦地**】が広がるエリアです。



【徳川家康物見塚へのタイムスリップ】:石碑の裏面確認

場所 新城市竹広断上地内;弾正山南端

ひ 日は悲し一五七五
ぞと武田七九

・東郷中学校東門

・此处はまさに、武田軍の主力のともいえる山縣昌景隊と相対する場所です。設楽原の決戦の中でも、最大の激戦地と云われる、【**竹広激戦地**】の広がる場所です。今では、のどかな田園が広がり、その中央を連吾川が静かに時を忘れたように流れます。

・昭和41年、5月に花崗岩の角柱の、徳川家康の著者、山岡荘八氏揮毫の【**設楽原決戦場碑**】を、新城市郷土研究会(設楽原をまもる会初代会長の峯田十光氏らが)が中心になり建てました。



断上山古墳群の10号墳は(物見塚古墳)は、全長50m 高さ6mで新城市最大の前方後円墳です。

・断上山では見事な古墳群が見られます。

【勝楽寺前激戦地から徳川家康陣地横へ】

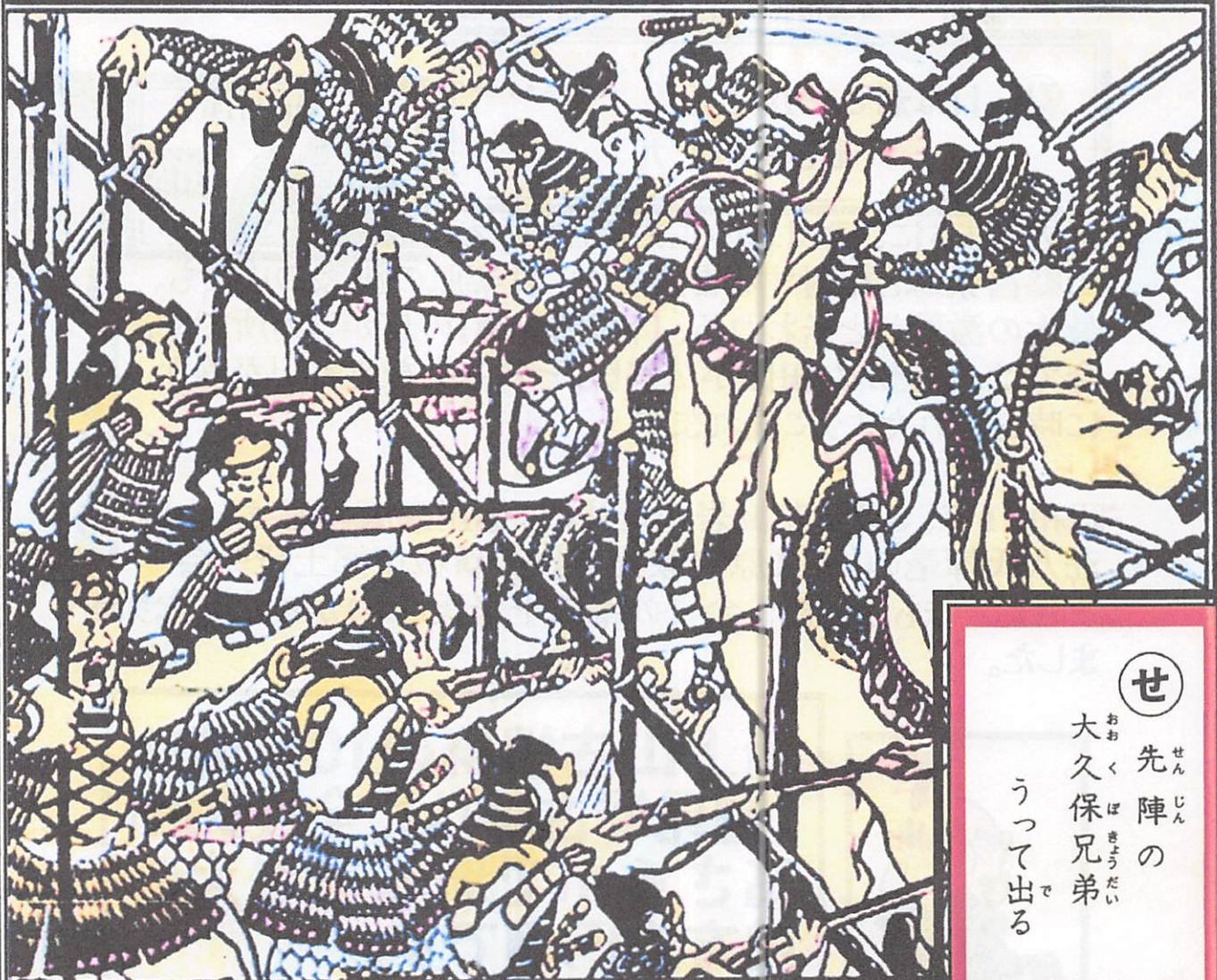
⑨ 先陣の大久保兄弟

・大久保兄弟陣地
川路 小川路

うって出る



・大久保忠世(ただよ)忠佐(ただすけ)兄弟は、設楽原の決戦の初期の段階では、連吾川の下流の勝楽寺前激戦地に陣を張りましたが、次第に戦いの中央に踊り出てきます。長篠合戦屏風には、アゲハ蝶の家紋を付けた忠世と、釣り鐘の家紋の忠佐が、家康の陣の真横で奮闘ぶりが描かれています。武田軍の左翼赤備の山縣昌景隊との死闘を繰り広げました。大久保彦左衛門は、忠世、忠助の弟です。



⑨

先陣の
大久保兄弟

うって出る

【鳥居強右衛門磔死之趾碑】

武士の鑑

③ 強右衛門のろしを
あげし雁峰山

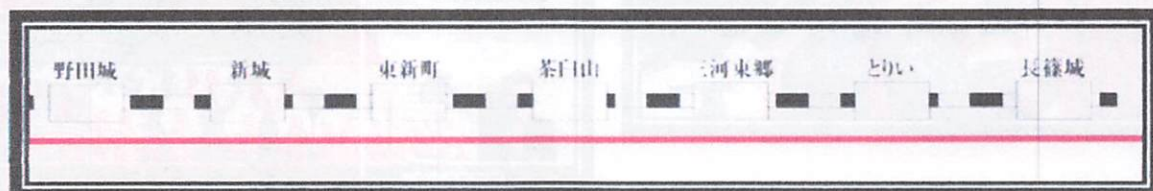
・須長 森長
・牛倉 真国

・鳥居強右衛門勝商は、5月14日夜半に、武田軍に包囲された、長篠城の不浄口より出て、徳川家康の岡崎城に【援軍要請】の使者として向かいます。鈴木金七郎が同行。首尾を果たし長篠城に戻ろうとしますが、捕らわれてしまいます。そして【援軍来るの真実】のことを叫び、磔(はりつけ)になりました。長篠城を救った戦いの恩人です。



【鳥居強右衛門へのタイムスリップ】：磔死之趾碑の位置は長篠城の対岸
場所 新城市有海字篠原：長篠城址対岸

- ・鳥居強右衛門は、太平洋戦争の戦前は、忠君愛国のシンボルとされ、毎年4月末に行われる【鳥居強右衛門まつり】も盛大に行われていましたが、近年は、地元有海区の住民が【郷土の英雄】としてまつりを行っています。
- ・太平洋戦争中には、【生きて虜囚の辱めを受けず】と富国強兵策に、帝国陸軍参謀本部に利用されました。
- ・新昌寺から、牛渕橋に向かって飯田線の踏切の手前を左に折れた場所に、【鳥居強右衛門磔死之趾碑】の石碑があります。
大正2年4月16日、長篠古戦場顕彰会の主唱により建てられました。
- ・新城市内には、戦いに因んだJR飯田線の駅名が多くあります。
野田城駅・新城駅・茶臼山駅・鳥居駅・長篠城駅・本長篠駅など
歴史ファンなら是非とも乗車したいものです。



・JR飯田線鳥居駅



【武田四郎勝頼】

●この絵の上段は、武田勝頼公 下段は北条夫
と嫡男の信勝像。戦国時代のこのような絵は稀で、
武田勝頼公の一面を窺う事のできる絵です。
原典は、和歌山県高野山持明院所蔵。

●絵は、天正五年三月三日に、諏訪大社千手堂の
落慶法要が催された折りに、迎えたばかりの、北
条夫人を伴い、今で言う新婚旅行に諏訪湖畔に出
かけた時に描かれた物だと伝わっています。武田
勝頼公に取りまして、東の間の平穏な時でした。



京めざす武田の 雄図今悲し

・勝東寺前遊戦地

山梨県甲州市では、毎年
【ふるさと武田勝頼公まつり】の
行事で、慰霊法要と、武者行列
で、武田勝頼公を偲んでいます



第53回甲州市ふるさとまつり

武田勝頼公まつり

平成30年 4/22日

場所 大和中学校校庭
時間 10時30分~15時30分

プログラム
 ■慰霊法要 武者行列
 ■勝頼公軍団出陣検査
 ■甲斐天目山勝頼公大鼓
 ■ふれあい広場 など

仲太郎・楯松しのぶ
歌謡ショー

詳しくは 勝頼公まつり 検索 <http://www.city.koshu.yamanashi.jp/>

主催：甲州市ふるさと武田勝頼公まつり実行委員会 お問い合わせ：甲州市役所 観光交流課 ☎0553-32-2111 (代)

* 甲州市ご当地ソング..【武田慕情】..ユーチューブで検索！

馬上の私は誰でしょう？〇〇優氏 答えは甲州市観光課へ

『おとら狐の民話』 大通寺の城藪稲荷とおとら狐



・長篠の籠城戦の戦いの折、長篠城本丸の櫓の上から1匹の狐が戦いの様子を見ていました。この狐は長篠城内の稲荷末社に棲む狐で、文字通り戦いの様子を高みの見物をしていましたが、火縄銃の流れ玉に当たり左目を失明しました。それまでも左足を痛めており、片目、片足の異形の狐でした。その後戦いに勝った城主の奥平貞昌は、徳川家康の命で新城城を(郷ヶ原に)築き、稲荷末社を置き去りにして、移ってしまいました。怒った狐は、城の近くに住む万兵衛の娘【おとら】にとり憑き生き続けました。【おとら狐】は、とり憑いた人間の体を借りて長篠城の戦いを語り、多くの人に悪戯を重ねました。困った村人は、医王寺の住職に頼んで、伏見稲荷を迎え、おとら狐を封じ込んだと云われています。長篠城の近くに住む人は、品物が紛失すると、油揚げを供えて探して頂く習慣がありました。城藪稲荷(稲荷末社)は、現在長篠城址から、目の前の大通寺に移管され多くの信仰を集めています。

桜の長篠城史跡保存館 本丸跡と縄張り図

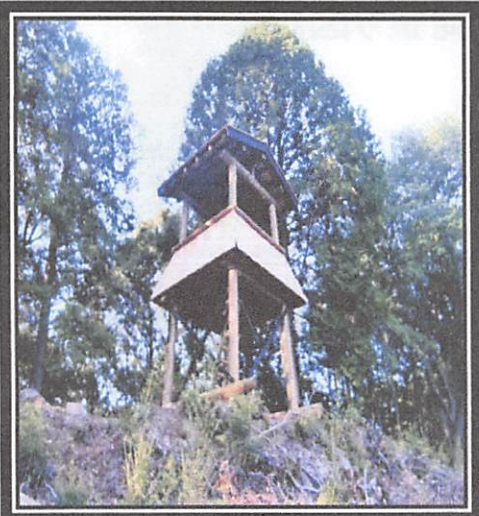


『医王寺の片葉のアシの民話』 医王寺と紅葉の阿弥陀池



- ・【長篠・設楽原の戦い】で長篠攻めの本陣の置かれた【医王寺】に伝わるお話です。武田勝頼が、いよいよ決戦の地【設楽原】へと軍を進めようとした前夜の事です。勝頼の夢枕に【葦の精】が白髪の老人の姿となって現れ『この度の戦は、神人共にくみしない所だから、戦をやめて甲斐の国に帰れとのお告げがあったと勝頼を諫めました。』勝頼は、怒って目覚めました。5月20日の出陣の朝です。勝頼は、この弥陀池のアシの精に向かい、『我を助けなければ、片輪にするぞ』と、刀を抜きアシの精の片腕を切り落としました。すると、池はにわかに波立って雷鳴が轟き天地が暗くなり、どこからか大声が響き渡りました。『我戒めに従わず無謀の戦をするのか、汝もこの戦で片腕と頼む臣を失うであろう』…そして弥陀池のアシが、全て片葉になっていたとの事です。

復元医王寺山物見やぐら



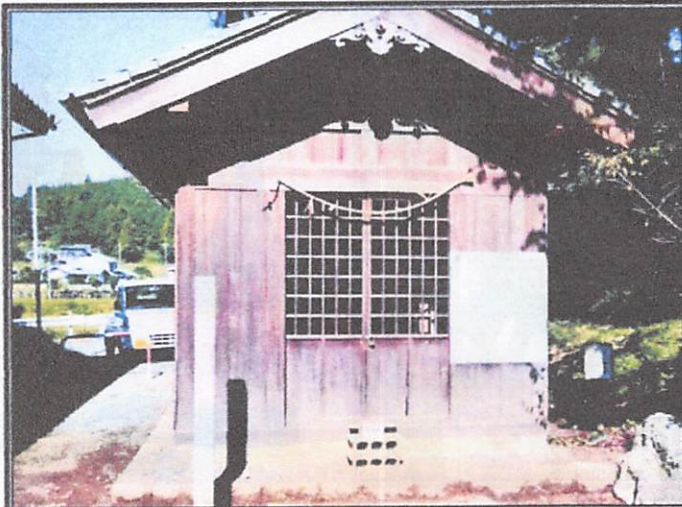
五月二十日
 武田本隊、進軍開始

医王寺山門前にて長篠設楽原鉄砲隊



『石座神社の神馬の民話』

神馬小屋と木造神馬

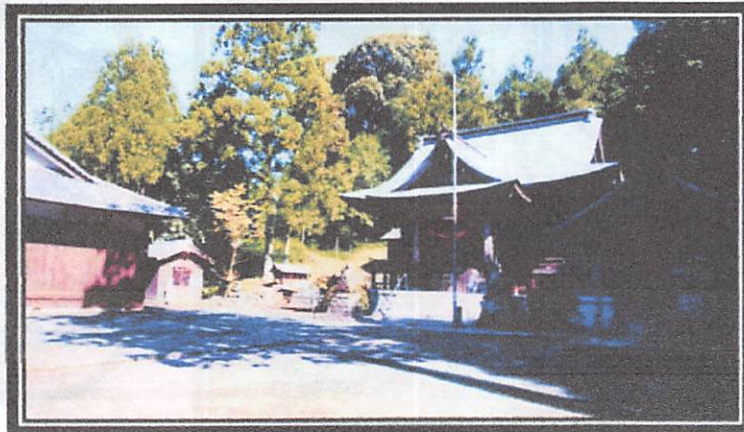


・木造神馬は、明和5年(1768)の7月下旬に、地元の大宮住民の長左衛門が飼っていた馬をモデルにして、般若寺の空道和尚が制作したと伝えられています。全長204cm 像高129cmのほぼ等身大の江戸時代の彫刻で、昭和33年4月1日に指定文化財に成っています。

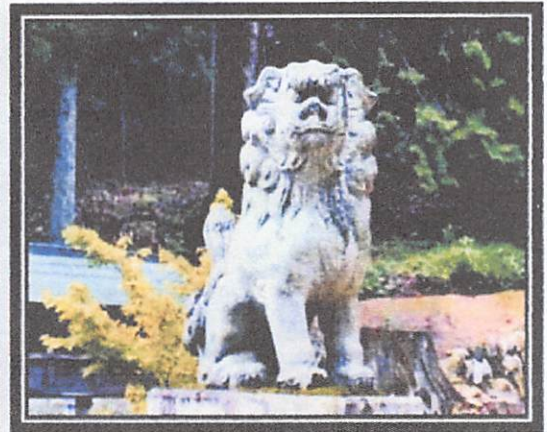
* 大宮地区の石座神社(いわくら神社)は、長篠・設楽原の戦い時に織田信長と徳川家康が戦勝祈願をしたと伝わる神社です。この神社の境内には、神馬小屋がありこの中の黒い馬は、初め白馬でしたが、毎夜村に出て、田畑を食い荒らすので、格子造りの馬小屋に閉じ込め黒く塗った処、それ以後はもう出なくなり田畑も荒らされることも無くなったと云う。

* 石座神社(いわくら神社)新城市大宮字狐塚 祭神は天御中主命と天雅彦命 創建は明らかでないが、奈良時代の法令集『延喜式』の神名帳に記載されている古い格式のある神社です。

石座神社 社殿



狛犬



『賓頭盧尊者の【びんずる】民話』  賓頭盧様



* 賓頭盧尊は、お釈迦様の弟子の一人で通称【おびんずる様】と呼ばれお寺の堂の前に置かれ、像を撫でると徐病の功德があるとされ【撫で仏】の風習があります。お酒が大好きで様々なお話があります。

* 設楽原の中央を流れる連吾川の、飯田線の鉄橋の下に【びんずる淵】があります。淵は両岸が切り立った様に成っていて、昼間でも薄暗くその中をゴーゴーと滝が音を立てて流れ、気味が悪い所です。むかしこの滝の上に、時々賓頭盧ばばあが出て、ビーンビーンと糸を紡いで近くに住む人々を、気味悪がらせていました。竹広の空道和尚は、村人に頼まれ賓頭盧尊者像を造り、滝の上に祀った処、不思議にもそれから賓頭盧ばばあは現れなく成りました。河川改修により賓頭盧尊者像は、近くの飯田線の鉄橋の右岸の庭に移され、大切に祀られています。空道和尚は、信玄塚の閻魔座像、石座神社の神馬、勝楽寺の魚鼓の作者です。

信玄塚お地藏様も



毎年 川路勝楽寺様により丁寧なお施餓鬼が執り行われています。

徳川家康の足跡がそこかしこに残る街【しんしろ】
 【どうする家康】の放映を契機に、新城市の魅力の
 再発見をしましょう！新城がもっと好きになる！

歴史の見える町【新城市】



三英傑集結
 天下統一火蓋
 の地獄楽原

有り難う御座いました。

皆様のご健康と
 ご多幸をお祈り
 いたします。

気を付けて
 お帰りください



長寿



- このまちのお勧めの観光エリア
- ◆ 新城市設楽原歴史資料館
 新城市竹広 ☎0536-22-0673
 - ◆ 新城市長篠城址史跡保存館
 新城市長篠 ☎0536-32-0162
 - ◆ 道の駅「もっくる新城」
 新城市八束穂 ☎0536-24-3005